

# MiSUMi

## PNES-MP501-R

### シリアル・デバイス・サーバ

## クイック・インストール・ガイド

V1.0

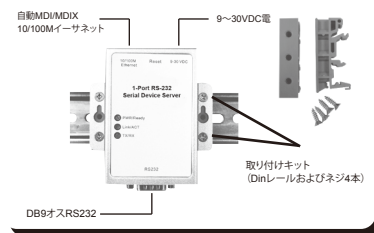
### 製品紹介

PNES-MP501-Rは1ポートのRS232-イーサネット・デバイス・サーバで、Windowsユーティリティ、Webブラウザ、Telnetコンソールを使って設定できます。その他の管理機能にはSNMP対応やEメールによる警報が含まれています。JetPort 5201には、デバイス検出、デバイス設定、IP一括設定、ファームウェア一括更新、監視機能などに対応した強力なWindowsユーティリティの JetPort Commanderが同梱されています。

### ハードウェアの取り付け

1. パッケージには以下のアイテムが含まれています:

- ▶ PNES-MP501-R本体
- ▶ 電源アダプタ (100~240VAC)
- ▶ 取り付けキット (フット・パッド)
- ▶ クイック・インストール・ガイド
- ▶ ソフトウェアCD



2. 本体の取り付け

- ▶ 壁掛け: ネジを使ってイヤー部を壁に取り付けます。
- ▶ Dinレール: イヤー部をネジでDinレールに取り付けます。

3. 本体に電源を接続して、ネットワークとシリアル・デバイスを接続します。

3.1 電源を接続し、本体の電源をオンにします。本体が起動すると、電源1のReadyのLEDが赤に点灯します。LEDの色が緑に変わると、本体を使用できます。

3. 本体に電源を接続して、ネットワークとシリアル・デバイスを接続します。

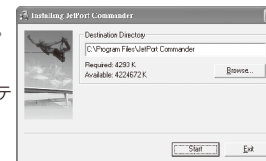
3.1 電源1/電源2を接続し、本体の電源をオンにします。本体が起動すると、電源1/電源2のLEDが赤に点灯します。本体が使用可能になると、LEDの色が緑に変わります。

3.3 通常のRS232ケーブルを使って、RS232デバイスと本体のDB9オスRS232ケーブル・ポートを接続します。

### ソフトウェアの設定

1. Commanderのインストール方法:

CDを挿入すると、プログラムが自動的に実行されます。セットアップが自動的に実行されない場合は、「PNES-MP501-R」から「Operation System」(オペレーティング・システム)を選択し、PNES-MP501-Rの「Setup.exe」を実行してWindowsユーティリティのCommanderをインストールしてください。



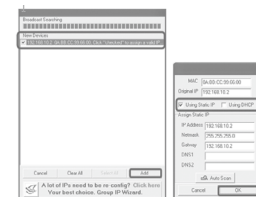
2. ユニットの検出:

Commanderはネットワークをブロードキャストして、ネットワークのすべての使用可能なユニットを検出します。

3. ユニットの設定:

3.1 ユニットをクリックして、「Add」(追加)を選択すると、ユニットを設定できます。

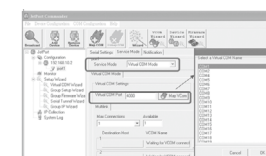
ネットワークのパラメータを指定する場合は「Static IP」(静的IP)を選択し、ユニットを動的に設定する場合は「DHCP」または「BootP」を選択してください。



4. 4 シリアル・ポートの設定:

4.1 「Configuration」(設定)に進んで、「device」(デバイス)および「port」(ポート)を選択します。「Serial Settings」(シリアル設定)を選択すると、シリアル・パラメータを設定できます。

4.2 「Service mode」(サービス・モード)を選択します。「Virtual COM」(バーチャルCOM)モードを選択した場合は、ポートをバーチャルCOMにマップします。



おめでとうございます。これでの設定は完了です。IPアドレスを使えば、WebブラウザやTelnetコンソールからにログインできます。

CPQ018P5201000